

## NYマーケットレポート (2016年1月14日)

NY市場では、欧州株が大幅下落となったことや、序盤に発表された米国の新規失業保険申請件数、輸入物価指数が冴えない結果となったこと、また堅調な展開で始まった米株価がマイナス圏まで下落する動きとなったことを受けて、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後、米株価が急反発となったことや、米長期債利回りが上昇し、日米金利差拡大が意識されたことを受けて、ドル買い・円売りが優勢となり、クロス円も堅調な動きとなった。

### 2016/1/14 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	118.10	118.19	117.31
EUR/JPY	128.24	128.30	127.75
GBP/JPY	170.12	170.35	168.85
AUD/JPY	82.20	82.33	81.17
EUR/USD	1.0861	1.0898	1.0855

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	118.11	117.54
EUR/JPY	128.85	128.17
GBP/JPY	170.18	169.02
AUD/JPY	82.20	81.27
EUR/USD	1.0944	1.0857

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17240.95	-474.68
ハンセン指数	19817.41	-117.47
上海総合	3007.65	+58.05
韓国総合指数	1900.01	-16.27
豪ASX200	4909.38	-78.06
インドSENSEX指数	24772.97	-81.14
シンガポールST指数	2644.57	-51.93

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	5918.23	-42.74
仏CAC40	4312.89	-79.05
独DAX	9794.20	-166.76
ST欧州600	339.42	-5.21
西IBEX35指数	8787.70	-146.80
伊FTSE MIB指数	19803.41	-336.46
南ア 全株指数	47697.53	-715.27

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	118.05	118.29	117.45
EUR/JPY	128.31	128.40	127.93
GBP/JPY	170.08	170.53	169.27
AUD/JPY	82.41	82.69	81.49
NZD/JPY	76.47	76.68	75.52
EUR/USD	1.0871	1.0919	1.0835
AUD/USD	0.6981	0.6998	0.6934

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16379.05	+227.64
S&P500	1921.83	+31.55
NASDAQ	4615.00	+88.94
日経225 (CME)	17495	+285
🇨🇦 トロント総合	12336.03	+165.62
🇮🇹 ポルサ指数	41352.75	+343.97
🇧🇷 ボベスパ指数	39500.11	+555.67

#### 1/15 経済指標スケジュール

09:30	【オーストラリア】11月投資貸付
09:30	【オーストラリア】11月住宅ローン約定件数
14:00	【シンガポール】11月小売売上高
16:00	【欧州】12月新車登録台数[EU-27]
16:45	【フランス】11月財政収支
17:00	【トルコ】10月失業率
17:30	【スウェーデン】11月個人消費
18:00	【ノルウェー】12月貿易収支
18:30	【英】11月建設支出
19:00	【欧州】11月貿易収支
22:00	【ポーランド】12月消費者物価指数
22:30	【米国】1月ニューヨーク連銀製造業景気指数
22:30	【米国】12月小売売上高
22:30	【米国】12月生産者物価指数
23:00	【カナダ】12月中古住宅販売件数
23:15	【米国】12月鉱工業生産
23:15	【米国】12月設備稼働率
00:00	【米国】11月企業在庫
00:00	【米国】1月ミシガン大学消費者信頼感指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1073.60	-13.50
NY 原油	31.20	+0.72
CMEコーン	358.00	+0.00
CBOT 大豆	882.25	+2.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.90%	0.90%
3年債	1.14%	1.14%
5年債	1.52%	1.51%
7年債	1.86%	1.84%
10年債	2.09%	2.06%
30年債	2.89%	2.84%

#### 1/15 主要会議・講演・その他予定

- ・ EU経済・財務相理事会
- ・ ニューヨーク連銀総裁 講演

(出所:SBILM)

**NY 市場レポート**

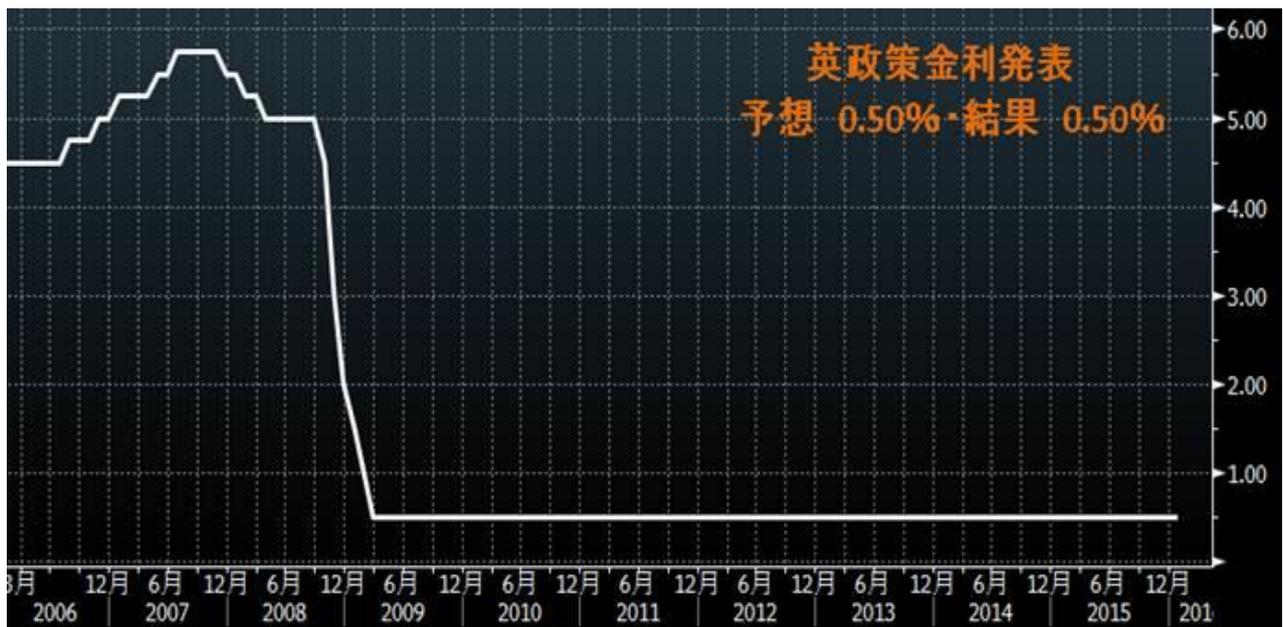
欧州タイム

21:00

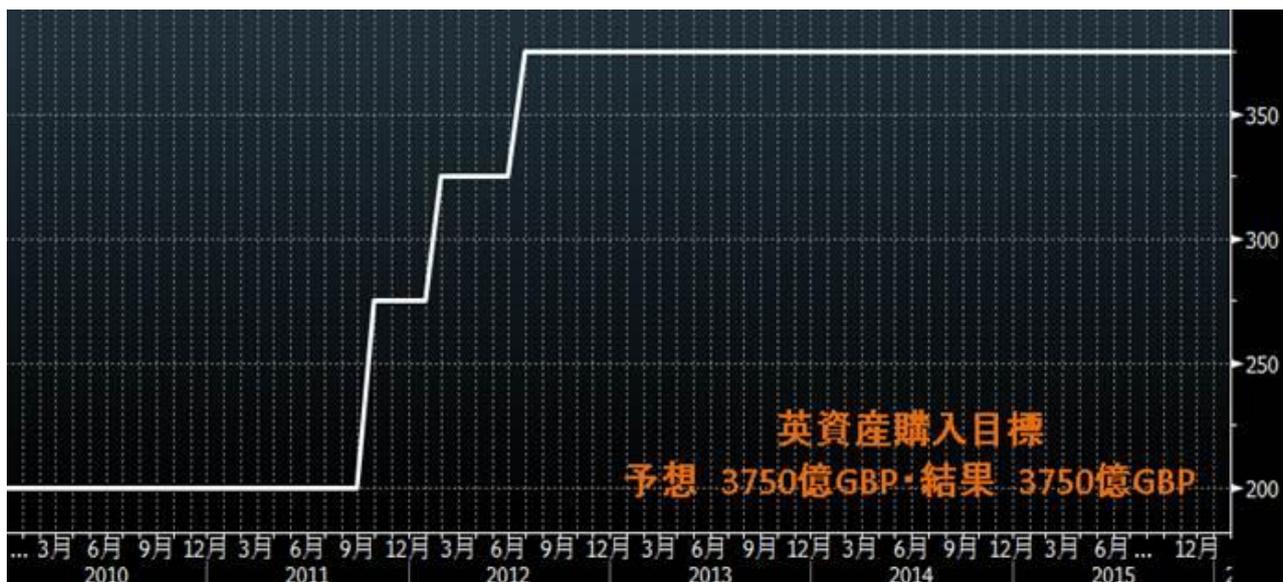
◀ 経済指標の結果 ▶

英政策金利発表 0.50% (予想 0.50%・前回 0.50%)

英資産購入目標 3750億 GBP (予想 3750億 GBP・前回 3750億 GBP)



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

## 1月の英中銀 MPC（金融政策委員会） 議事要旨

- ・「1人が利上げ支持、8人が金利据え置き支持、利下げ支持なし」
- ・「マカファーティ委員が0.75%への利上げを主張」
- ・「英中銀は、QEの下で2016年1月満期国債の償還資金84億ポンドを再投資へ」
- ・「先行きの見通しは、11月のインフレ報告時点とほぼ同じ」
- ・「原油価格下落により、目先のインフレ率は予想よりやや緩やかに上昇へ」
- ・「最近の金融市場の混乱は、世界経済の成長への下振れリスク」
- ・「金利は緩やかに上昇し、最近のサイクルより低い水準にとどまる見通し」
- ・「ECBのインフレ見通しに対するリスクは下向き」
- ・「12月の10bp利下げは必要なら追加引き下げの余地、著しい副作用見られず」
- ・「20bpなど、より大幅な預金金利引き下げの提案も」
- ・「資産買い入れは、月額拡大・前倒し実施・半年以上の延長など提案あった」

21:00

### ＜企業決算＞

#### 米 JP モルガン

第4四半期の調整後1株利益は1.40ドル（予想1.27ドル）

22:00

ドル/円 117.85 ユーロ/円 128.29 ユーロ/ドル 1.0887

22:00

#### 欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	5872.15	-88.82	ダウ 先物ミニ	16111	+55
仏 CAC40	4291.00	-100.94	S&P 500 ミニ	1888.00	+6.50
独 DAX	9737.79	-223.17	NASDAQ 100 ミニ	4183.00	+7.25

(出所:SBILM)

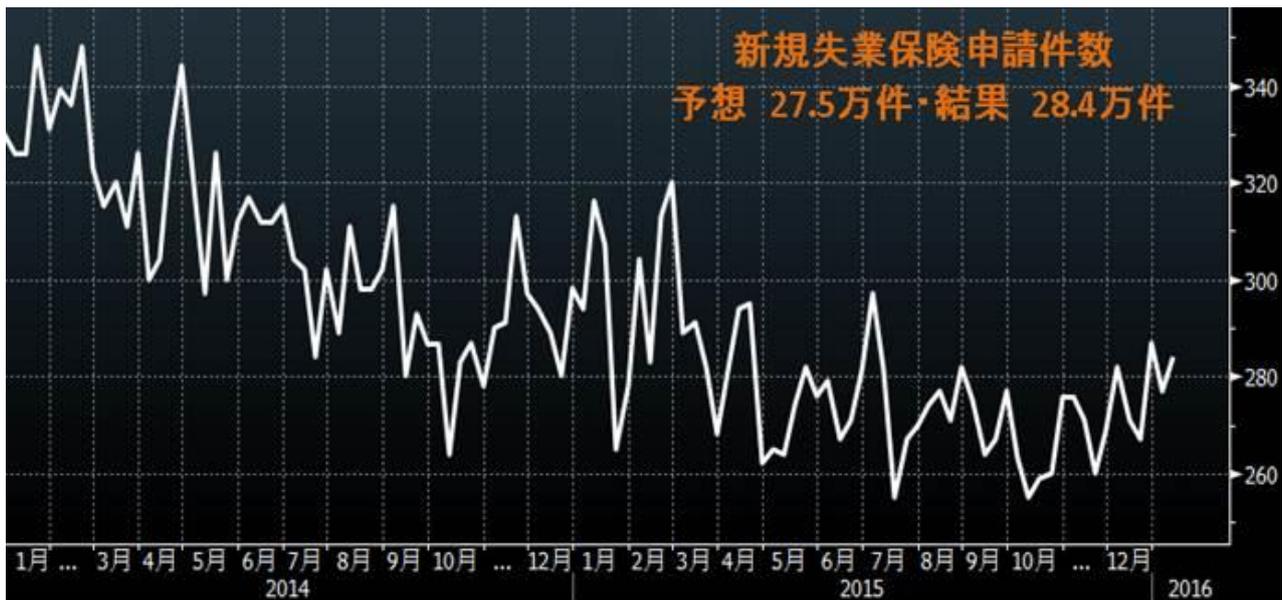
22:30

### ＜経済指標の結果＞

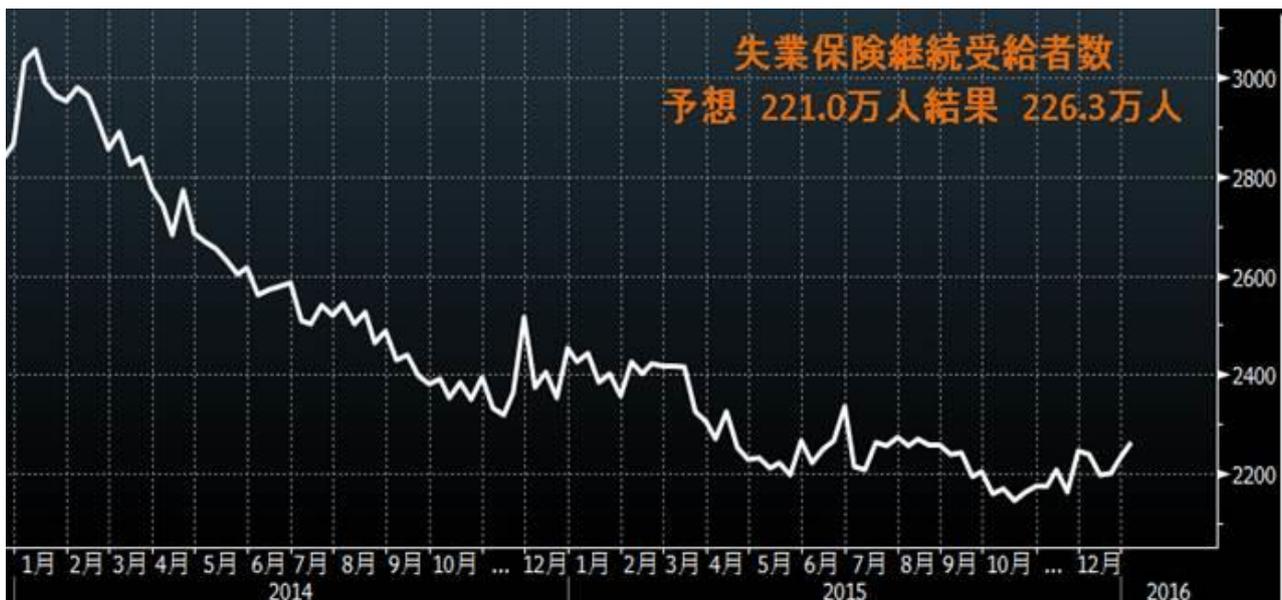
新規失業保険申請件数 28.4万件（予想 27.5万件・前回 27.7万件）

失業保険継続受給者数 226.3万人（予想 221.0万人・前回 223.4万人）

前回発表の223.0万人から223.4万人に修正



(出所：ブルームバーグ)



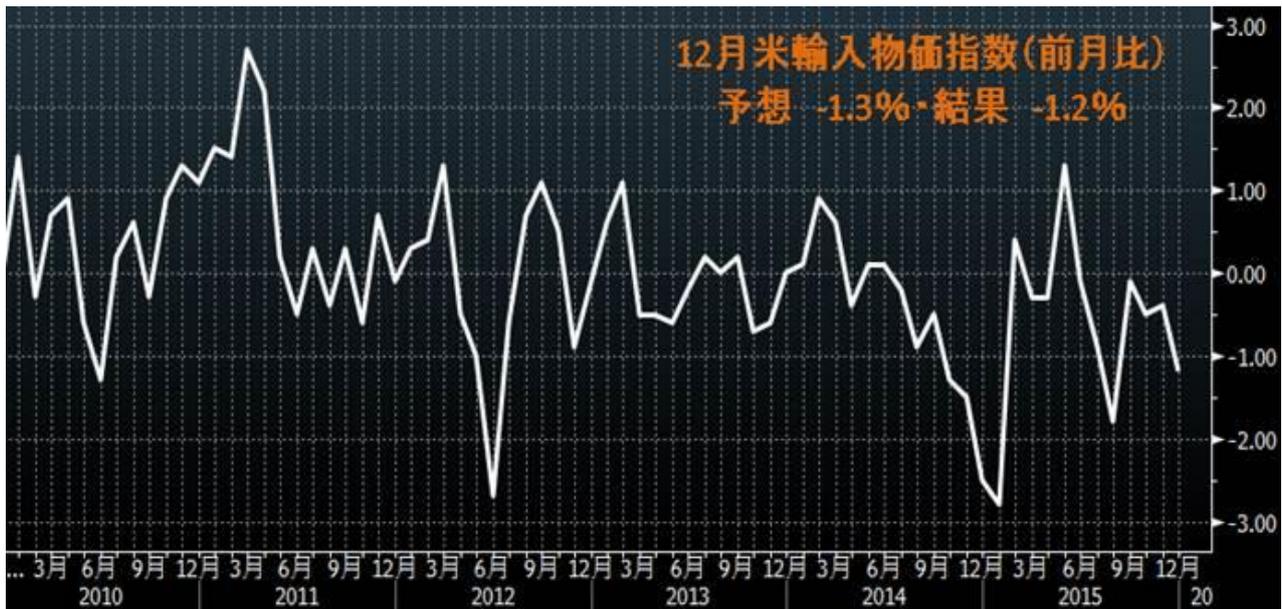
(出所：ブルームバーグ)

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

12月米輸入物価指数（前月比） -1.2%（予想 -1.3%・前回 -0.5%）  
 前回発表の-0.4%から-0.5%に修正

12月米輸入物価指数（前年比） -8.2%（予想 -8.4%・前回 -9.5%）  
 前回発表の-9.4%から-9.5%に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

**指標結果データ**

**《米輸出入物価》**

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
全輸入	-1.2	-0.5	-0.4	-1.1	-1.8	-0.9
石油	-10.0	-3.6	0.2	-9.4	-13.6	-6.3
非石油	-0.4	-0.3	-0.4	-0.2	-0.4	-0.3
食品・飲料等	-0.1	-0.1	-1.0	-0.7	0.3	-0.1
資本財	-0.3	-0.1	-0.2	-0.1	-0.1	-0.3
自動車・部品	-0.1	-0.1	-0.3	-0.1	-0.1	0.1
消費財	-0.1	-0.1	0.0	0.1	-0.1	-0.2

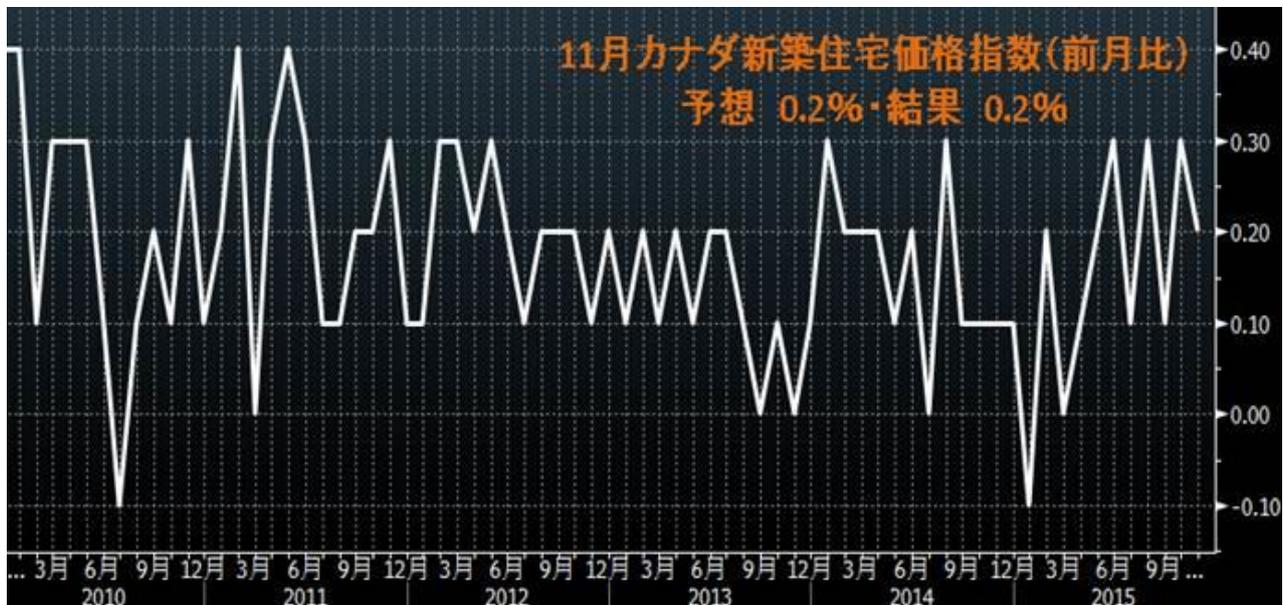
	12月	11月	10月	9月	8月	7月
全輸出	-1.1	-0.7	-0.2	-0.6	-1.4	-0.4
農業	-1.0	-0.9	0.1	-1.4	-2.5	1.0
非農業	-1.0	-0.7	-0.3	-0.5	-1.3	-0.6
食品・飲料等	-1.1	-0.9	0.6	-1.4	-2.9	1.6
資本財	-0.2	0.0	-0.2	0.0	-0.1	0.0
自動車・部品	0.0	-0.1	-0.1	0.0	0.0	-0.2
消費財	-0.4	0.1	-0.1	-0.2	-0.4	-0.4

22:30

◀ 経済指標の結果 ▶

11月カナダ新築住宅価格指数(前月比) 0.2% (予想 0.2%・前回 0.3%)

11月カナダ新築住宅価格指数(前年比) 1.6% (前回 1.5%)



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
16/01/02	284,000	7,000	278,750	*****	*****
16/01/02	277,000	-10,000	275,750	2,263,000	1.7%
15/12/26	287,000	+20,000	277,000	2,234,000	1.6%
15/12/19	267,000	-5,000	272,500	2,205,000	1.6%
15/12/12	272,000	-10,000	270,750	2,195,000	1.6%
15/12/05	282,000	+13,000	270,750	2,242,000	1.7%
15/11/28	269,000	+9,000	269,250	2,245,000	1.7%
15/11/21	260,000	-12,000	271,000	2,161,000	1.6%
15/11/14	272,000	-4,000	271,000	2,155,000	1.6%
15/11/07	276,000	0	267,750	2,173,000	1.6%

受給者数は集計が1週間遅れる

23 : 00

《 経済指標の結果 》

10月メキシコ総設備投資 1.0% (予想 2.6%・前回 5.7%)



(出所：ブルームバーグ)

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16182.92	+31.51
ナスダック	4540.76	+14.69

(出所：SBILM)

23 : 50

◀ 要人発言 ▶

ブラード・セントルイス連銀総裁

- ・「インフレ率の2%回帰、想定よりも時間が掛かる可能性」
- ・「インフレ期待の低下は懸念材料になりつつある」
- ・「原油安は、米経済にはなお差し引きでプラス材料」
- ・「インフレ期待は、原油安が原因で低下している可能性も」
- ・「ドルが今後、大きく上昇するとは見ていない」
- ・「為替相場は既に金融政策の違いを織り込んでいる」

0 : 35

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、堅調な展開で始まったものの、日本や欧州株の下落が意識されたことや、米失業保険申請件数が市場予想を上回ったことも材料視され、一時マイナス圏まで下落する動きとなった。しかし、その後は原油価格の上昇などを背景に、エネルギー関連が大きく上昇するなど、主要株価は堅調な動きとなっている。

0 : 55

◀ 要人発言 ▶

ブラード・セントルイス連銀総裁

- ・「3月のFOMC会合まで状況を見極めたい」
- ・「市場もFOMCも1月の行動を考えていない」
- ・「中国経済の見通しは1月1日以降変わっていない」
- ・「賃金の伸びが2016年に加速すると予想」

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 米失業保険申請件数は、前週比+0.7万件的の28.4万件的となり、市場予想の27.5万件的を上回った。ただ、昨年3月7日までの週以降45週連続で30万件的を下回った。申請件数の4週移動平均は、前週比+0.3万件的の27万8750件。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+2.9万人の226.3万人と3週連続で増加し、昨年8月29日までの週以来の高い水準となった。受給者総数の4週移動平均は、前週比+5250人の222万4250人となった。受給者比率は、前週比0.1ポイント上昇の1.7%。

(2) 12月の米輸入物価指数は、前月比-1.2%となり、6ヵ月連続のマイナスとなり、前月の-0.5%から下落率が拡大し、2015年8月以来の大きな低下となった。前年同月比では-8.2%。ドル高と原油安を背景に、エネルギー関連が大きく下落したほか、食品・燃料を除いたベースでも値下がりし、輸入物価全体を押し下げる結果となった。

①石油・石油製品は、前月比で-10.0%、前年同月比で41.3%。石油以外の品目は-0.4%、前年同月比では-3.7%と2009年10月以来の大きな低下となった。品目別では、原油が-11.7%、食品は-0.1%、自動車・同部品が-0.1%。

②国・地域別では、カナダが-2.8%、メキシコ・中南米が-1.5%、EUが-0.4%、日本が-0.1%、中国が-0.1%。

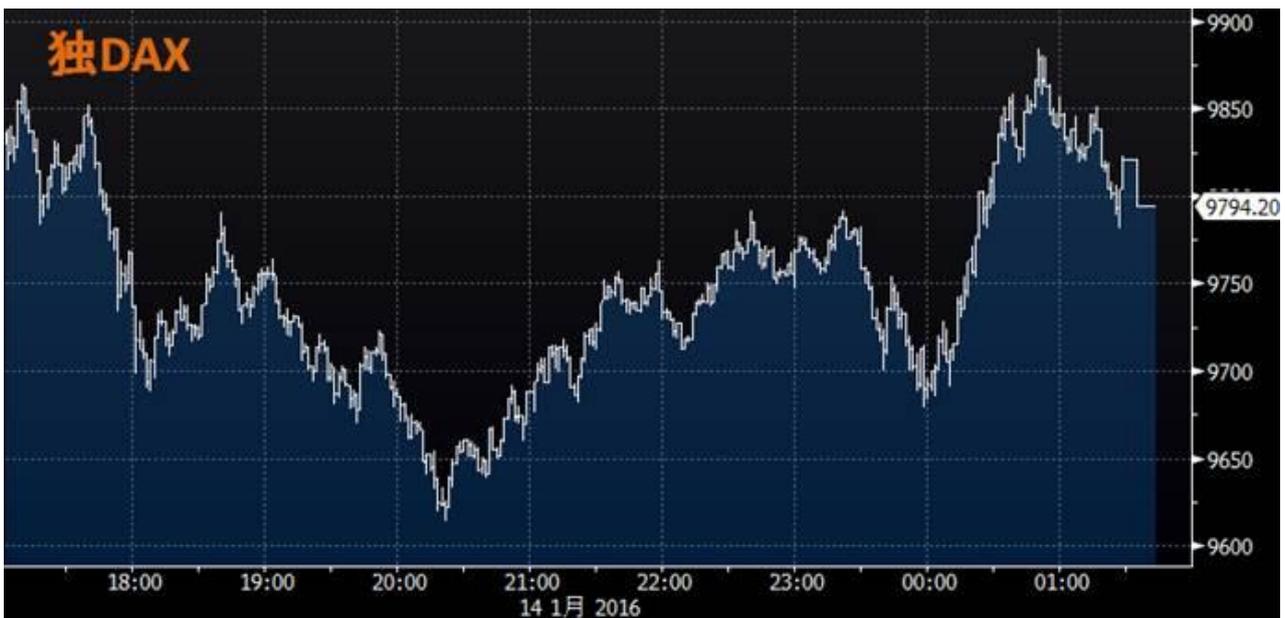
③輸出物価は、前月比-1.1%となり、7ヵ月連続で値下がりし、前年同月比では-6.5%となった。農産物が前月比-1.0%、前年同月比では-13.0%。農産物以外は前月比で-1.0%、自動車・同部品は横ばいだった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	5918.23	-42.74
仏 CAC40	4312.89	-79.05
独 DAX	9794.20	-166.76
ストック欧州 600 指数	339.42	-5.21
ユーロファースト 300 指数	1334.36	-20.44
スペイン IBEX35 指数	8787.70	-146.80
イタリア FTSE MIB 指数	19803.41	-336.46
南ア アフリカ全株指数	47697.53	-715.27

(出所: SBILM)

### 《欧州株式市場》

欧州株式市場は、原油安や中国経済減速への警戒感から主要株価は売りが先行した。その後も排ガス不正の有無をめぐる当局の調査を受けたフランスの自動車大手の株価急落も投資家心理を冷やす結果となった。



(出所: ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 16366.90 (+215.49) 、S&P500 1909.01 (+18.73) ナスダック 4583.11 (+57.04)

### 《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、ブラード・セントルイス連銀総裁が、原油安によるインフレ見通し低下に懸念を示したことを手掛かりに、FRBによる利上げペースは緩やかとの見方が強まり、短期債を中心に買いが先行した。一方、米30年物国債入札を前にポジション調整の売りも出やすく、長期債はもみ合いの展開が続いた。

午前の利回りは、30年債が2.88%（前日2.88%）、10年債が2.09%（2.09%）、7年債が1.86%（1.87%）、5年債が1.51%（1.53%）、3年債が1.13%（1.16%）、2年債が0.89%（0.91%）。

3 : 00

《米財務省 30 年債入札》

最高落札利回り . . . . . 2.905% (前回 2.978%)  
 最低落札利回り . . . . . 2.715% (前回 2.850%)  
 最高利回り落札比率 . . . . . 62.27% (前回 81.27%)  
 応札倍率 . . . . . 2.29 倍 (前回 2.42 倍)

4 : 50

NY 金は、中心限月が前日比 13.50 ドル安の 1 オンス=1073.60 ドルで取引を終了した。

5 : 30

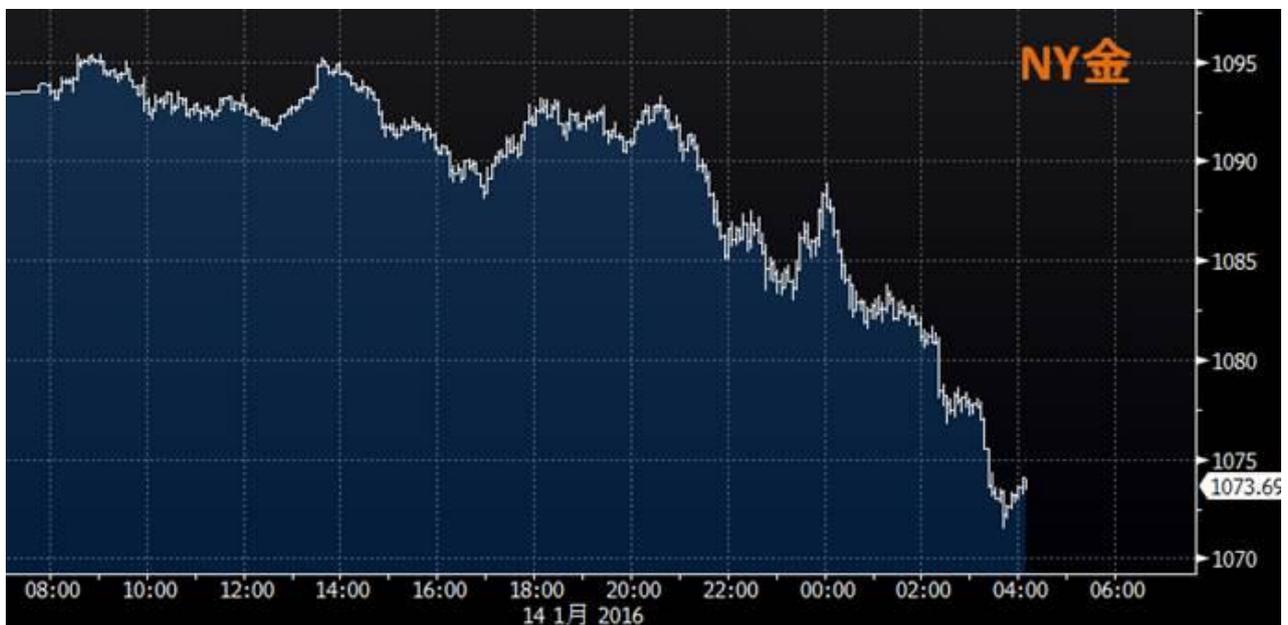
NY 原油は、中心限月が前日比 0.72 ドル高の 1 バレル=31.20 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1073.60	-13.50
NY 原油	31.20	+0.72

(出所 : SBILM)

《 NY 金市場 》

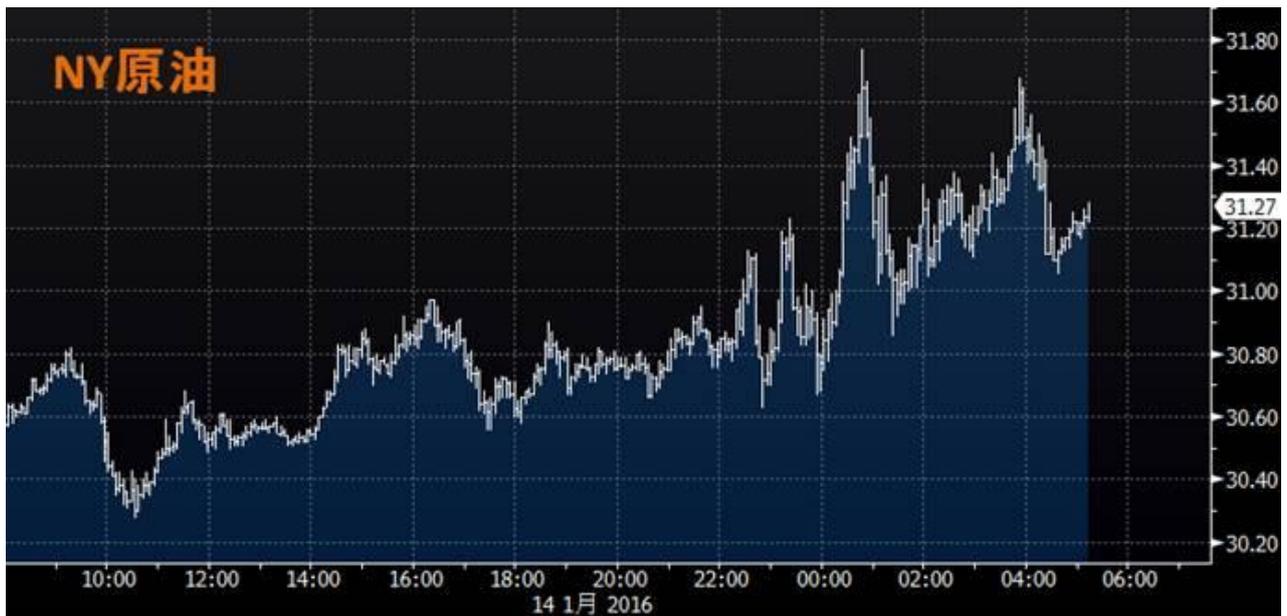
NY 金は、原油相場が下げ止まり、米国株が大幅上昇したことから投資家のリスク回避の動きが後退し、比較的安  
 全な資産とされる金を売る動きが優勢となった。



(出所 : ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、このところの相場下落の反動で、買い戻しが優勢となった。ただ、欧米による対イラン制裁の解除手  
 続きが早ければ週内にも始まるとの報道を受けて、イラン産原油の供給増加への警戒感が高まっていることから上  
 値は限定的となった。



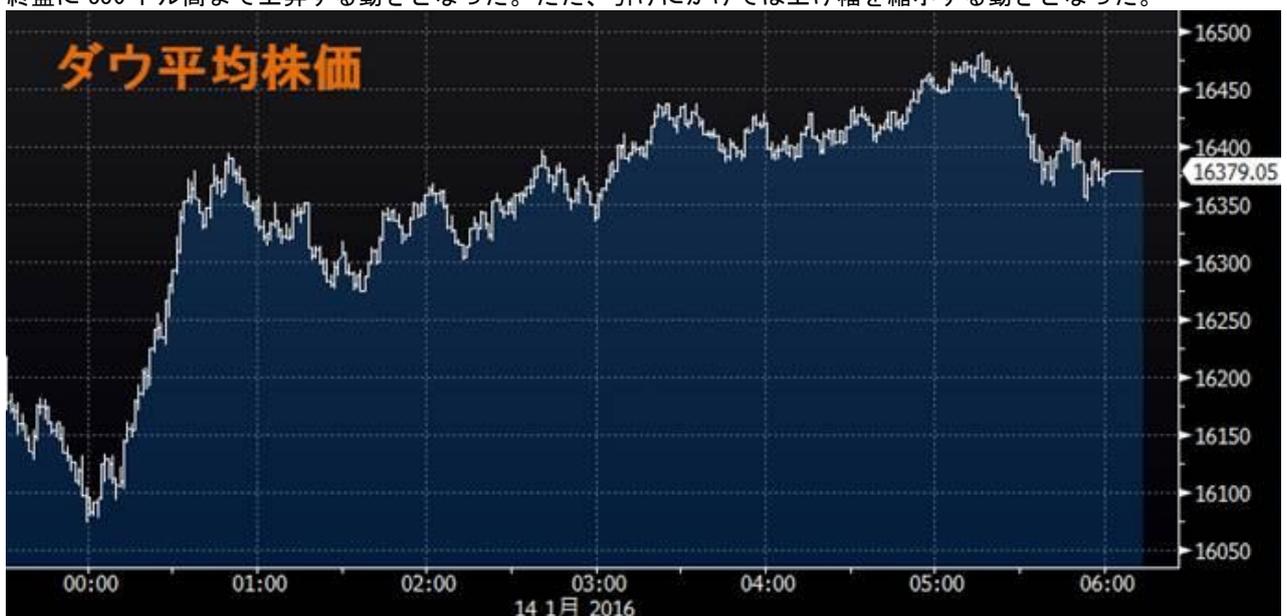
(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16379.05	+227.64	16482.05	16075.12
S&P500 種	1921.83	+31.55	1934.47	1878.93
ナスダック	4615.00	+88.94	4650.55	4470.59

(出所：SBILM)

#### 《米株式市場》

米株式市場は、堅調な展開で始まったものの、日本や欧州株の下落が意識されたことや、米失業保険申請件数が市場予想を上回ったことも材料視され下落する場面もあった。しかし、その後は原油価格の上昇などを背景に、エネルギー関連が大きく上昇するなど、主要株価は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤軟調な動きもあったが、終盤に 330 ドル高まで上昇する動きとなった。ただ、引けにかけては上げ幅を縮小する動きとなった。



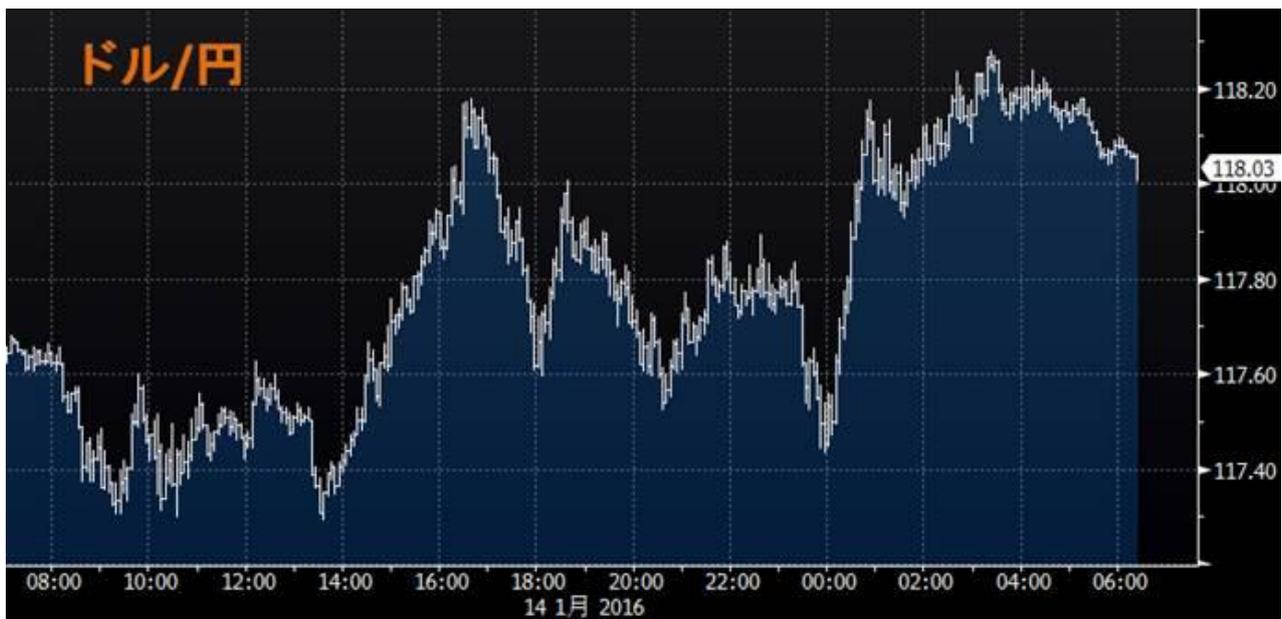
(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	118.05	118.29	117.45
EUR/JPY	128.31	128.40	127.93
GBP/JPY	170.08	170.53	169.27
AUD/JPY	82.41	82.69	81.49
NZD/JPY	76.47	76.68	75.52
EUR/USD	1.0871	1.0919	1.0835
AUD/USD	0.6981	0.6998	0.6934

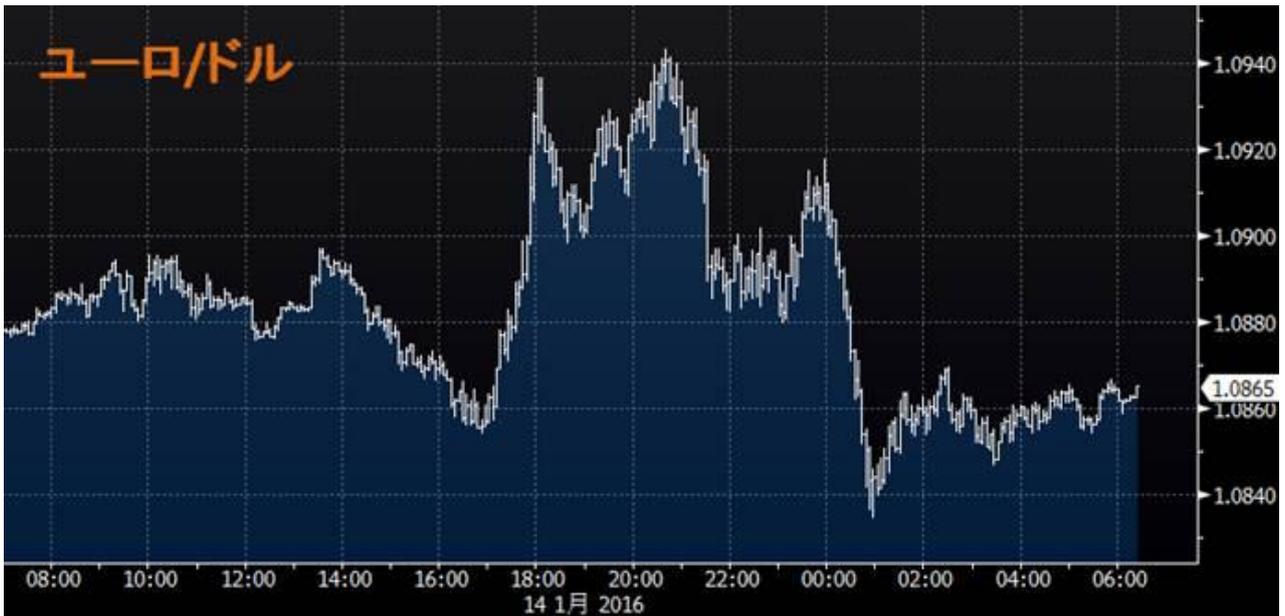
(出所: SBILM)

### 《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤は欧州株の下落や、米株価も軟調な動きとなったことを受けて、序盤のドル円・クロス円はやや軟調な動きとなった。その後は、原油価格が堅調な動きとなったことや、米株価が大きく上昇したことを受けて、投資家のリスク回避の動きが後退し、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

《 今後のテクニカルポイント 》

長期チャートによるサイクル分析 (ドル/円)



(出所：ブルームバーグ)

ドル/円は、長期的チャートで16.5年サイクルを見ることができる。この16.5年サイクルの中には、3つの5.5年サイクルが存在する。直近では、2011年11月にボトムを付けて、新たな16.5年サイクルが始まったと考えられる。そして、16.5年サイクル上の高値は、最初の5.5年サイクル内に付けるのがパターンである。このことから、現行の16.5年サイクルの高値は、2016年5月までにつけると予測できる。

ただ、過去2回の平均は3年8ヵ月であることから、2011年11月のボトムから3年7ヵ月目にあたる2015年6月に付けた125.86が16.5年サイクルのトップだった可能性も考えられる。また、トップサイクルでは、平均8年1ヵ月サイクルでトップを付けており、前回から8年0ヵ月目にあたる2015年6月がトップであったと見ることもできる。このことから、16.5年サイクルの高値は2015年6月(125.86)に付けたと考えられる。

そして、1982年11月に16.5年サイクルのトップを付けてから1年後にはトップから16.2%下落しており、その次の16.5年サイクルのトップを付けた1998年から1年後には21.6%の下落となっている。この平均を、2015年6月がトップだった場合に当てはめると、1年後の2016年6月に102.07と計算できる。なお、次の16.5年サイクルのボトムは、2027年5月(±6ヵ月)と予測できる。

---

---

提供:SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。